

事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

I. 事業に関する事項

1. 顕彰事業

1.1 C&C賞の受賞者の選考・決定

2021年2月16日に開催された2020年度第3回審査委員会並びに同年3月10日に開催された2020年度第4回理事会において、2021年度C&C賞の募集要項及び募集から選考に至るスケジュールが審議・承認された。

これを受けて、同年4月15日に財団事務局から国内247名、海外214名の有識者宛に推薦依頼状が發送され、締切り期日の同年5月31日までに、国内外合わせて53通、46件の候補者(グループ)の推薦が得られた。これにより過去10年の累積候補者数は159件となった。

受賞者選考に当たっては、賞の意義に照らして慎重な選考を行うため第1回審査委員会の前に予備審査委員会が同年6月22日に開催され、累計159件の候補者から11件に絞り込みが行われた。続いて同年7月6日に2021年度第1回審査委員会が開催され、慎重な審議の結果、2021年度C&C賞受賞候補者として次の2グループ2名が選考された。

グループ A

福島 邦彦 博士 一般財団法人ファジィシステム研究所 特別研究員
[対象業績] 人工知能技術の発展への貢献となる、脳の視覚野の知見を工学に応用した階層型神経回路モデル「ネオコグニトロン」の先駆的研究

グループ B

ロドニー ブルックス 教授 マサチューセッツ工科大学
ロボット工学名誉教授
ロバスト AI CTO

[対象業績] ロボット工学におけるサブサンプリングアーキテクチャーの提唱と、自律型ロボットの実用化への主導的貢献

この選考結果を受けて同年7月21日に2021年度第3回理事会が開催され、評議員臨席のもと、審査委員会原案の通り上記2グループ2名を2021年度C&C賞受賞候補者として内定した。

各候補者に連絡をとり、いずれの候補者も受賞を快諾され、ここに2021年度C&C賞受賞者を正式に決定した。

1.2 C&C賞表彰式典

2021年度C&C賞表彰式典を、2021年11月29日にANAインターコンチネンタルホテル東京において挙行了。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、式典会場への出席者は招待者に限定し、一般参加者向けにはオンライン・ライブ配信した。まず贈呈式では、招待者と一般参加者計約70名の参加のもとで、青山審査委員長から受賞者及び受賞理由の発表があり、次に受賞者に賞牌等が手渡された。続いて受賞者による受賞講演が開催された。グループB受賞者のロドニー ブルックス教授はコロナ禍による渡航制限のため来日が叶わず、やむなくご欠席となり、代わりに事前収録したビデオを上映した。また、例年開催されている、式典参加者を交えたカクテル、受賞者及び招待者によるディナーは開催を見送った。

1.3 C&C若手優秀論文賞

本賞は当財団の国際会議論文発表者助成を受けて海外で発表された論文の中から、毎年概ね3件以内の優秀論文に対して賞金を授与するものである。今回は審査対象論文20件について2021年9月8日から10月22日にかけて本賞のために設けられた予備審査委員会により、独創性、秀逸さ、有効性等の観点から書面による審査が行われ、その中から10件の受賞候補論文が選考された。これら受賞候補論文の中から、同年12月7日に開催された2021年度第2回審査委員会において、2021年度C&C若手優秀論文3件が決定され、2022年1月25日に開催された研究助成会において、香田 優介氏(京都大学)、大津留 豪氏(慶應義塾大学)及び木村 大海氏(奈良先端科学技術大学院大学)の3名にそれぞれ賞状及び賞金20万円が授与された。

2. 研究助成事業

2021年3月10日に開催された2020年度第4回理事会において2021年度事業計画及び予算が審議され、国際会議論文発表者助成及び外国人研究員助成の実施を決定し、研究助成費予算総額を880万円とした。

2.1 国際会議論文発表者助成

2021年度国際会議論文発表者助成は、前年までと同様に前期と後期の年2回の募集(公募)を行った。応募と助成の実績は次表の通りであった。

	前 期	後 期	年間計
応 募	19名	15名	34名
助 成	12名	10名	22名
助成額合計	64万円	33万円	97万円

2.2 外国人研究員助成

2021年度外国人研究員助成は、前年度と同様に年一回公募で募集した。2020年12月8日に開催された2020年度第2回審査委員会において3名を受給者として内定した。助成期間は2021年4月から1年間で、助成額は1名あたり月額12万5千円、年間150万円とし、受給者3名に対し合計450万円の助成金を支給した。

応募	助成	助成額合計
18名	3名	450万円

2.3 研究助成会の開催

2022年1月25日に外国人研究員助成の受給者及びC&C若手優秀論文賞受賞者を対象に、次表のとおりオンラインで研究助成会を開催した。

開催方式	対象者	出席者数
Web会議	2021、2022年度の外国人研究員助成受給者、2021年度C&C若手優秀論文賞受賞者	9名

II. 総務に関する事項

1. 理事会・評議員会

2021年度中に次の理事会及び評議員会が決議の省略及びオンラインにて開催され、各議案が審議・承認された。

(1) 2021年度第1回理事会（2021年5月11日 決議の省略）

第1号議案 2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

の事業報告書及び財務諸表の審議、承認の件

第2号議案 2021年度定時評議員会の第2号議題の議案の件

(2) 2021年度定時評議員会（2021年6月1日 オンライン開催）

第1号議案 2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

事業報告書及び財務諸表承認の件

第2号議案 評議員選任の件

第3号議案 常勤理事の報酬の件

(3) 2021年度第2回理事会（同上）

第1号議案 審査委員選任の件

第2号議案 審査委員長承認の件

第3号議案 国際会議論文発表者助成規程改定の件

(4) 2021年度第3回理事会（2021年7月21日 オンライン開催）

第1号議案 2021年度C&C賞受賞者審議・決定の件

報告事項 1) 理事長及び専務理事の職務状況報告

2) 基本財産の運用状況について

(5) 2021年度第4回理事会（2022年3月9日 オンライン開催）

第1号議案 2022年度事業計画案審議の件

第2号議案 2022年度収支予算案審議の件

第3号議案 2022年度定時評議員会招集の件

報告事項 1) 理事長及び専務理事の職務状況報告

2) 基本財産の運用状況について

3) 2022年度第1回理事会の開催形式(決議の省略)について

2. 2021年度事業日誌

－各理事会、評議員会の議題は上記「Ⅱ-1項」に記載

2021年

5月11日 第1回理事会（決議の省略）

6月1日 定時評議員会及び第2回理事会開催

6月22日 予備審査委員会開催

－ 2021年度C&C賞受賞候補者の予備審査

7月6日 第1回審査委員会開催

－ 2021年度C&C賞受賞候補者の選考

7月21日 第3回理事会開催

11月29日 2021年度C&C賞表彰式典挙行

12月7日 第2回審査委員会開催

－ 2021年度C&C若手優秀論文賞受賞者選考

－ 2022年度外国人研究員助成受給者選考

2022年

1月25日 外国人研究員助成受給者及びC&C若手優秀論文賞受賞者を対象とした研究助成会開催

2月15日 第3回審査委員会開催

－ 2022年度会議開催予定日について

－ 2022年度顕彰事業について

－ 2022年度研究助成事業について

3月9日 第4回理事会開催

この間、2021年9月及び2022年3月に国際会議論文発表者助成の書類審査が審査委員によって行われた。

以上

事業報告書附属明細書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

詳細については、事業報告書の本文内で説明済みであるので内容の記載を省略する。

以上